

<b>フルバリネート乳剤</b> <b>マブリック EW</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、一農  <b>原体メーカー：</b> 日農
<b>成分：</b> フルバリネート〔ピレスロイド系〕……………19.0%	<b>性状：</b> 類白色乳濁液体 <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 有効成分の油状粒子が水中に乳濁しているタイプの液剤で付着性がよく、散布液が乾燥した後、作物からの有効成分の剥離が少ないので、散布後の作業時の鼻やのどへの刺激性が少ない。
- 散布後の果面、葉面の汚れが少ない。
- その他、マブリック水和剤20の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 浸透移行性はないので、十分な液量で作物全体にかかるよう丁寧に散布する。
- キンモンホソガ、ミカンハモグリガなど潜葉性害虫に対しては幼虫の潜葉後では効果が劣るので成虫の発生初期から盛期に散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさける。ボルドー液との前後散布は、ボルドー液散布後4日以上の間隔をあける。本剤散布後はボルドー液の散布をさける。

●ミツバチに対して毒性が低く薬液が乾燥すると更に安全性が高まる。従って朝や夕方のミツバチの活動していない時に散布するなど、その保護をはかる。（低温条件下で直接ミツバチに散布すると殺虫力を示す。）

●適用外作物（すもも、あんず、ネタクリン）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 摘果などの作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣を着用する。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	フルバリネットを含 む農薬の総使用回数
りんご	キンモンホソガ アブラムシ類 シンクイムシ類 ヒメシロモンドクガ モモチョッキリゾウムシ	2000 倍	200 ～ 700 ℓ	30 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
なし	ナシグンバイ カメムシ類 ハマキムシ類 ナシホソガ モモシンクイガ						
	アブラムシ類						
	みかん	アブラムシ類 ミカンハモグリガ		2000 ～ 4000 倍			
チャノキイロアザミウマ		4000 倍		21 日前 まで			
かんきつ (みかんを除く)	コアオハナムグリ ケシクスイ類 カメムシ類	2000 倍		45 日前 まで			
	アブラムシ類 ミカンハモグリガ	2000 ～ 4000 倍					
	チャノキイロアザミウマ	4000 倍					
もも	シンクイムシ類 モモハモグリガ	2000 倍		21 日前 まで			
	アブラムシ類	4000 倍					
うめ	オビカレハ	2000 倍		30 日前 まで			
かき	カキノヘタムシガ カメムシ類	2000 倍					
	チャノキイロアザミウマ イラガ類 ミノガ類	4000 倍					
とうもろこし	アブラムシ類		前日まで				
たまねぎ	ネギアザミウマ	3000 ～ 4000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前 まで			
ばれいしょ	アブラムシ類	4000 倍					
やまのいも	ナガイモコガ						
豆類 (種実, 但し, だいず, あずき, らっかせいを 除く)	アブラムシ類						
だいず	マメシンクイガ						
	アブラムシ類						
あずき	ノメイガ類						
	ヨトウムシ カメノコハムシ						
てんさい					前日まで		